

望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を身につける活動の工夫
縦割り班活動を通して

日立市立会瀬小学校

1 はじめに

今年度は、感染症により誰もが味わったことのない学校生活がスタートした。さまざまな制限の中で、みんなで我慢をしルールを守りながら現在に至っている。そんな中で、「元気な学校にしたい」と高学年が中心となり、少しずつ工夫のある活動が展開されてきた。その中で、やりがいや達成感などを味わいながら活動してきた異学年小集団編成による「縦割り班活動」の取り組みを紹介したい。



2 資料

(1) 縦割り班活動のねらい

1年生から6年生までの児童を小集団に編成して、共に遊び・共に働き・共に学び合う活動を通してよりよい人間関係を築き上げ自ら進んで協力し活動する態度を育てる。また、高学年のリーダー性を育てることも合わせてねらいとした。

(2) 活動内容

- ア 毎月、第4水曜日の昼休み（35分間にして）が活動日である。
- イ 学級を10班に分けて、縦割り班を編成する。気になる児童や特別支援学級在籍児童、その他生徒指導面から配慮の必要な児童を考慮しながら編成していく。
- ウ 活動計画で設定した場所や時期に合うよう活動を工夫し計画・準備・実践していく。

(3) 計画と実践

- ア 縦割り班活動のねらい、教師の思いを高学年へ説明し意欲化を図る。
- イ 班長会議を始め、話し合い活動の充実を図り、目的に合った活動計画を立てる。
- ウ 計画表を担当教師に提出して説明し、指導を受けて再度計画・準備と進めていく。
- エ 活動日は計画に合わせて、奉仕作業・活動・振り返り・解散・反省・次時の計画をしていく。



(4) 成果と課題

- ・活動してみると緊張したり、忘れたり計画の不備や失敗を実感できた。シュミレーションの必要性を感じ、次回に生かそうとする姿が見られた。
- ・みんなで奉仕活動をするのが気分転換となり、その後の活動にも安全に落ち着いて取り組もうとしていた。
- ・活動の決まりの遵守や安全第一を考慮した計画が立てられるようになってきた。さらに、相手のことを考えた話し合いや活動の中で活気のある取り組みを展開させたい。